



関西学院 大学新聞



■発行■
 関西学院大学新聞総部
 西宮市上ヶ原1番町1-155
 関西学院大学新学生会館3F
 電話・FAX (0798) 51-1181 ☎662-0891
 三田支局
 三田市学園二丁目1番地
 ☎669-1337

扉の一言

拡大版

➡ 4・5面

2006年2月1日 第764号

TOPICS

2 関学NEWS

3 [新連載]

・社説「日進月歩」

・コラム「days」

4・5 扉の一言 拡大版

「君に捧ぐ12の言葉」

7 別れの季節、到来！

涙系DVD特集

8 利きおにぎり@コンビニ

764号

2006年度 一般入試 (F日程・A日程) 志願者数速報

学部/学科/専攻	日程	志願者数	昨年度 志願者数
神学部	A日程	116	79
	F日程	732	
文学部	A日程	1,135	1,953
文化歴史学科	F日程	536	
	A日程	864	1,596
総合心理科学科	F日程	1,000	
文学言語学科	A日程	1,693	2,806
	F日程	1,368	
社会学部	A日程	2,840	4,460
社会学科	F日程	503	
社会福祉学科	A日程	760	1,564
	F日程	1,413	
法学部	A日程	2,123	4,697
法律学科	F日程	235	
政治学科	A日程	501	
経済学部	F日程	2,035	5,179
	A日程	3,201	
商学部	F日程	1,747	5,273
	A日程	3,646	
総合政策部	F日程	401	571
総合政策学科	A日程	896	1,820
	F日程	181	216
メディア情報学科	A日程	267	563
理工学部	F・A日程合計	637	575
物理学科	F・A日程合計	368	327
物理専攻	F・A日程合計	694	733
数学専攻	F・A日程合計	868	858
化学科	F・A日程合計	1,000	932
生命科学科			
情報科学科			

注：神学部はF日程募集なし。
 理工学部はF日程とA日程一括募集。
 志願者数は願書処理した数。

(入試課調べ)

2006年度 入学試験 始まる

今年も2月1日から8日まで、一般入学試験(A日程・F日程)が行なわれる。上ヶ原キャンパスをはじめ、北は札幌から南は福岡まで、全国14カ所の試験会場でも受験生が入学試験に向かうことになる。なお、試験場による有利不利は全くない。各学部の志願者数は表の通りである。

今年も神学部(募集人員30人)、経済学部(募集人員650人)、商学部(募集人員650人)、理工学部(募集人員360人)の各学部で志願者増となった。神学部、経済学部、商学部、理工学部はそれぞれ、37人、57人、120人、142人の増加となった。

一方、文学部(募集人員70人)、社会学部(募集人員70人)、社会学部(募集人員70人)の英語、国語、世界史、日本史、地理が100%マークセンス方式となった他、A日程でも世界史、日本史、地理が100%マークセンス方式となった。その影響がいくつかの学部では志願者数が増したが、全体では志願者数が減少することとなった。聖和大学との合併に伴う教育学部の設置(2008年度予定)に関しても、プレス発表が1月19日であったことも関係し、受験生への影響は少なかつたものと見られる。

合格発表は、2月12日から。経済学部と商学部を皮切りに順次、掲示板や郵送で行なわれる。さらに、F日程、A日程の合格者の中で特に優秀であった者に入学時奨学金が支給される。また、合格発表の後、3月1日から11日(11日は持参受付)まで、センター試験利用入試の出願を受け付けている。センター試験入試は個別学力検査を課さないが、理工学部化学科のみ面接が実施される。なお、社会学部では3月のセンター試験入試は実施されない。

合格発表は、2月12日から。経済学部と商学部を皮切りに順次、掲示板や郵送で行なわれる。さらに、F日程、A日程の合格者の中で特に優秀であった者に入学時奨学金が支給される。また、合格発表の後、3月1日から11日(11日は持参受付)まで、センター試験利用入試の出願を受け付けている。センター試験入試は個別学力検査を課さないが、理工学部化学科のみ面接が実施される。なお、社会学部では3月のセンター試験入試は実施されない。



すべての物事には終わりがあり、例えば人はそれを生に對して死、出会いに對して別れと呼ぶ。これはどんな形であれ、必ず訪れる事であり、人はそれから様々な事を学ぶ季節が春に近づくと、卒業式がある。これは学生にとって数ある行事の中で、嬉しい反面、どこか切ない事だろう。共に勉強をし、遊び、いくつもの思い出を作った友達、またはその学校という場所と離れ離れになるからで。いつもは「また明日ね」と、何もない限りまた明日会える事が分かっていて、卒業してからはその言葉がなかなか言えなくなる。卒業を前に振り返ると、楽しかった事、悲しかった事、悔しかった事、いろいろな事が蘇り、それは僕ら一人一人の心にある。これからはそれと共に生きていくわけであり、その思い出の中にはいる人と会えなくなるのはつらいものである。僕らは生きていけばいくほど、もう戻る事のできない過去に依存しやすくなる。それは未来がだんだん見えなくなり、逆に振り返る思い出が多くなるから。しかし、振り返ればやはりはいけないとよく人は言う。確かにその通りだが、未来は決して確かなものではない。時には明日が恐ろしくなり、前ばかりを見ていたらなくなってしまう。一度誰かに会いたいということだ。前を見て、その未来にみんながいるなら、僕は強く歩いていける気がする。卒業は一つの起点であり、そこからまた新たに旅立つのだ。過去と未来を繋ぐ、かけがえない事であり、これからは僕らは幾度となく何かを卒業していくだろう。

応援団総部・チアリーダー部の 「WEST SIDE STORY」

応援団総部チアリーダー部では雰囲気が一転し、ヒップポップ調のかっこいいダンスである。中央学生で、ブラザに感心。「ライオンキング」で、真剣に練習に励む彼女達のは向かい合って引つつかあつた姿を見かけた人も多いことだろう。12月19日に行なわれたThe 19th K.G. Winter Festaはそんな期待を裏切らないものであった。

フレッシュマン・ステージ テーマは「和」

注目に値するのが、第2部のフレッシュマン・ステージである。1回生自身が振り付け、踊る。1回生自身が振り付け、踊る。1回生自身が振り付け、踊る。

FDコンペ・ラウンドテーブル 新たな授業を提言

12月1日、よりよい授業を探究Faculty Development(以下FDと表記)の一環として「FDコンペ」が開かれた。会場の関西学院翼の間に、上ヶ原・神戸三田両キャンパスの学生・教員・職員が一同に会した。

FDコンペ「学生の企画力を活かして、新たな授業を提言するために」では、グループに分かれて新しい授業を企画。最優秀としてAグループの「KGB改善・単位からの脱却」が選ばれ、表彰された。グループリーダーの溝井拓さん(商3)は、「現在の授業形態に対する不満をぶつけたい」と熱く語る。授業の形式としては問題発見→調査→発表→フィードバックの形をとり、50人以下の少人数で活動する。来年度の「総合コース」で実施される予定だ。

「チューター制」しかしそれでは、大学の「専門性を身につける」という本来の目的はどうなるのか? それに対しては、「チューター制」という案が出た。具体的には新入生の履修指導することなどが挙げられる。また、文学部心理学科には、院生が後輩の研究の相談に乗ったり、研究室の使い方やマナーを教えるという慣習がある。つまり、学部・学科内での「タテのつながり」を強化し、学生が専攻分野のおもしろさを早い段階から教わるようにできるようにするのである。

また教員側にも、学生たちのその後の人生に学んだことがどう関わっていくか触れること、学生自身が考えるように仕向けるような問いなどがある刺激的な授業を展開する工夫が求められる。関学はかつて大学紛争も経験したことから、関西でもいち早くFDに着手し、その歴史も古い。しかし他の大学

そう、チアリーダーの真の目的とは、観客の心をつかみ、選手たちを勝利に導くこと。DOLPHINSの実力を目の当たりにした一幕だった。「日本一のチアリーダーになろう」というのが、私達が今年掲げた目標でした」と中山裕子部長は「部長からのあいさつ」で述べた。さらに、「私たちは何かの大会に出るわけでもなく、試合に出て勝ったりするわけでもありません。でも選手達を元気づけたり、観客を楽しませようとする気持ちは日本一だと思います。そういう意味で、心も技術も日本一になろうと頑張っています」とも生き生きと語った。

「日本一のチアリーダーになろう」というのが、私達が今年掲げた目標でした」と中山裕子部長は「部長からのあいさつ」で述べた。さらに、「私たちは何かの大会に出るわけでもなく、試合に出て勝ったりするわけでもありません。でも選手達を元気づけたり、観客を楽しませようとする気持ちは日本一だと思います。そういう意味で、心も技術も日本一になろうと頑張っています」とも生き生きと語った。

「感動のファイナル」観客が流れて、青く照らされたステージの上で全員が手に持って振るペンライトの光が美しく輝いた。舞台の幕が下りるまで、彼女らとその後輩達は素敵な笑顔を見せてくれた。そして観客も、確かな技術に裏付けられた華麗な演技に惜しみない拍手を送った。単なるダンスチームの枠を越えているチアリーダー部。これからも人々を元気づける応援を続けて欲しい。

教育とは、「共育」

「教育とは、共育」FDコンペではこんな発言があった。「教育とは共育である。学生と教員の両者が授業を作り、育っていくことができるような環境を整えた」と。

クリスマス・カップ 第54回 関西学院大学・関西大学 アイスホッケー定期戦

12月17日、神戸市立ポートアイランド・スポーツセンターで、クリスマスカップ第54回関西学院大学・関西大学アイスホッケー定期戦が行われた。過去の関学の戦績は、11勝40敗2分。強豪関大を相手にどこまで実力を発揮できるかが試合の見所だった。



第1ピリオド、立ち上がりから両チーム激しいぶつかり合いを見せながらゴールを狙う。関大のシュートが決まる。後を追うように関学が攻め入り、開始8分、8番FW藤井愛一郎(社1)が、33番DF、副将の渡邊勇介(総4)のアシストを受け同点ゴール。しかし、この後関大の速攻を防ぐことができず、1対2で第1ピリオドは終了。



第2ピリオド、試合は2対10と関学は大差をつけられ終了したが、パワフルなプレーを見せつけた選手達に、観客は大きな拍手を送った。

第3ピリオドに試合はヒートアップ! 結局、この試合は2対10と関学は大差をつけられ終了したが、パワフルなプレーを見せつけた選手達に、観客は大きな拍手を送った。

言語コミュニケーション文化研究科セミナー「バイリンガリズム研究のすすめ」2つの言語が出会うとき何が起ころ?」開催

お詫びと訂正 本誌763号(05年12月12日発行)に8面のOBインタビューの中に誤りがありました。羽田直子さんの名前が「羽田さん」と表記されていましたが、正しくは羽田さんです。読者の皆様、関係者の意を得る必要性があることとす。

社説 日進月歩

去年の暮れ、政府の予想より2年早く、日本は人口減少時代を迎えた。その原因には、女性の社会進出や不景気による出生率の低下等がある。

世間では男女平等が叫ばれ、それに伴い男女雇用機会均等法などという法律ができた。そして、女性は昔よりもはるかに働きやすくなった。しかし、働く女性は、子供が生まれると仕事復帰するのが困難なので、妊娠・出産を今まどってしまおうという悩みを今なお抱えている。日本の少子化問題は、そういった仕事を持つ女性達の家庭と仕事の両立の難しさを反映しているとも言えるだろう。

政府は、出生率が1.57に落ちた1990年(いわゆる1.57ショック)から少子化対策として、働く女性のため保育サービスや教育環境を充実させる施策を行ってきた。だが、それでも出生率は毎年減少。2005年の出生率は1.26前後まで落ち込んだ。

昨年10月の内閣改造では、猪口邦子氏が少子化専門官僚に任命された。これに伴い、3歳までの子供を持つ家庭を対象とする育児手当制度が新設され、さらに6歳までの子供の医療費を全額無料にするという、家庭の財政支援中心の対策案が出された。育児手当は、若年夫婦も子供を持ちやすいようにするためのもので、月額1万5000円が支給される。

確かに、この法案は今まで子育ての現状を考えると多少減少は止まりそうにない。しかし、この法案は今年度から施行される。彼女の研究対象は非常に多岐にわたっている。

政治史の観点からは、選挙民のアイデンティティがいかに政党再編を生じさせ、南北分裂の起因になったかについて、社会・文化史の分野から祭や通過儀礼などにアプローチしている。また、女性の参政権獲得にむけての運動やボランティアの研究にも力を注いでいる。

田中教授のゼミはアットホームな雰囲気、ゼミ生同士が仲良くなれると評判である。飲み会も月に1回あり、その度に教授は担ぎ出されて大変なのだとか。また、文学部代表としてディベート大会にも積極的に参加している。田中教授の口からは「よく遊び、よく学ばせませ」の言葉が頻りに出た。

歴史研究をしていく上で、苦しみとはなんですかと尋ねると、「私の研究している対象は、手がかりが少な過ぎる。集団としての存在は確かめられても、一人ひとりのことは分からない」と苦笑された。例

いに改善されたように見える。しかし実際問題として、月額1万5000円、年間たった18万円の援助で子供1人を育てられるようになるだろうか。それに、医療費が全額無料になったところで、一般的な生活費の増加などへの支援よりも、学費を安くするなどの支援をする方が、よっぽど具体的な支援策として、政府の支持も集まるか。家計も助かるのではないかと、今までの「保育制度の充実」では不十分のため、今回「養育費の充実」が新たに盛り込まれたのだが、財政支援と呼ぶには、なんとも中途半端に思える。

コラム days 第1回『受験戦争と僕たち 私たち』

僕は決まったレールの上を歩きたくはないが、しかし、たいていの人間は気づかないで、間を歩いている。人生の場所は違っても、同じようなイベントとは同じようなものがある。その中で、青春の半ばに「受験戦争」と呼ばれるものがある。

僕が高校に入学したばかりの頃だった。高校受験、言わ

ば第一次受験戦争を経験して間もないのに、ある塾の勧誘で、3年後に「大学受験」があることを知った。それは高校受験よりもっと大変なものだということを知らされた。難関である高校に合格して浮かれていたのに、そんな気持ちが一瞬にして消えていった。が、まだ3年先の話なので、そんなに悩む事はないと思いつつ、またすぐに浮かれ気分に戻っていた。

僕は高校時代、いわゆるクラスの中で馬鹿だった。勉強が得意な子だった。中学まではどうも勉強に関しては苦痛しなかったが、高校は違っていた。その中で僕はテスト前には努力はするものの、結果は出なかった。要は努力が足りていなかったに違いない。そう自分では思いたくなく、たが、周りでは成績表で僕の学力を決めていた。しかし、勉強のできる子はそれなりに努力していたのも聞けない。学年が上がるとつれて、高校に入学した時に知った大学

え、ある居住地に住んでいるネイティブ・アメリカンについて調べようとしても、純血・混血といった区分けがなされておらず、個人の記録に至っては部族の酋長クラスの身分の人でないに過ぎない。今は様々なパーツ、そしてそれをつなぐものを探している状態ですね」とい言葉から、教授の苦労がうかがえる。

それでも田中教授が歴史学を続けているのは何故だろうか。「歴史は確かに、為政者によってつくられるものもある。けれども私は自分と同じような人間がどんな風に政治や経済の影響を受けたのか、その時代にどう生きたのかに注目したいから」という答えが返ってきた。

私達はネイティブ・アメリカンや移民といったマイノリティの人々について西欧世界の境界にあってた一部のもの、淘汰された存在と考えてしまいがちだ。しかしそのような見方をすれば、そこで展開している異文化接触の実態は見逃されてしまう。現代社会を見ると、日本を取り巻く国際情勢は激変し、まさに政治・経済・社会の変動期を迎えようとしている。今私達に必要なのは、自らが住む社会の変化を長期的な流れでとらえ、その未来像を冷静に描いていくこと。そのために歴史を学び、現代の国際社会を構成する枠組みを提示することが、緊急の課題だ。

受験を身近に感じていた。僕は予備校ではなく、個人塾のようなあまり名の知れていない塾に通っていた。そこでは一生懸命に勉強し、中3の時に志望校に向けて頑張っていた自分を思い出した。この調子でいけば、僕は大学に受かると思った。「大学受験も高校受験と同じで、頑張った人だけが入れろい」そんな風に思い、頑張っている自分はいや、またすぐに浮かれ気分に戻っていた。

受験当日、少し緊張しつつも周りの奴らを倒すという気持ちでいっぱいだった。負けたくはないし、負けられないと思った。今までの努力をすべて出し切る時が今まさにこの時であり、この日はいつもと違って朝、自転車で走っている時も「赤信号に引っかけなければいけません」だの、「電車の切符の数字で同じ数字があればうまくいく」だの、普段はそんな迷信を信じないが、その事が頭から離れなかった。結局、赤信号に引っかけたまま受験に失敗したものの、まだ

僕は頑張れるし、まだ敗北ではない事を知った。またのチャンスがあるし、ここで終わらせたくないかと思いつつ、まだ僕は生きていくわけだから、様々な人間に出会い、ただ生きるだけでいいか、何事も経験して生きていきたいと思った。つまり、日々起こる出来事に対して、自分なりの意味付けをし、それが自己満足だと言われても、自分の人生だからいいと思った。

受験をして合格したか不合格だとか、そんなことはどうでもよくて、その「受験」という経験が自分にとって何だったのか、その事を考えてみたい。決められたレールの上においても、僕らはその上でそれぞれが違う感情を抱き、それぞれが違う人に出会うので、それもまたいいと思う。要は、その経験と自分との関係がどうであるかを考えるほしい。また新しい事を始める時もその気持ちを忘れずに、僕たち私たちは生きていくべきだろう。

教授の背中 田中きく代 文学部 教授



田中教授のゼミはアットホームな雰囲気、ゼミ生同士が仲良くなれると評判である。飲み会も月に1回あり、その度に教授は担ぎ出されて大変なのだとか。また、文学部代表としてディベート大会にも積極的に参加している。田中教授の口からは「よく遊び、よく学ばせませ」の言葉が頻りに出た。

「普通の人たち」による歴史参加をどうしたい」と語る田中教授。研究テーマは主に政治文化・エスニシティとされているが、彼女の研究対象は非常に多岐にわたっている。

政治史の観点からは、選挙民のアイデンティティがいかに政党再編を生じさせ、南北分裂の起因になったかについて、社会・文化史の分野から祭や通過儀礼などにアプローチしている。また、女性の参政権獲得にむけての運動やボランティアの研究にも力を注いでいる。

田中教授のゼミはアットホームな雰囲気、ゼミ生同士が仲良くなれると評判である。飲み会も月に1回あり、その度に教授は担ぎ出されて大変なのだとか。また、文学部代表としてディベート大会にも積極的に参加している。田中教授の口からは「よく遊び、よく学ばせませ」の言葉が頻りに出た。

歴史研究をしていく上で、苦しみとはなんですかと尋ねると、「私の研究している対象は、手がかりが少な過ぎる。集団としての存在は確かめられても、一人ひとりのことは分からない」と苦笑された。例

たなか・きくよ
兵庫県生まれ
1989年 英会話教師・翻訳者・通訳者として働き始める
1993年 アメリカに留学
1994年 関西学院大学に勤務

関学生のためのインターネットサービス
関学ネットは関西学院大学新聞総部をサポートしています

つながる、ひろがる、関学ネット

KWANGAKU.NET

●発行回数は年6回。発行部数は6,000~9,500部です。
●長期休暇前や、新入生・受験生に配布する号を狙っての掲載も可能です。

お問い合わせは、
〒662-0891 西宮市上ヶ原1-1-155
新学生会館3F 関西学院大学新聞総部まで
(詳しい資料をお送りします)
TEL・FAX 0798-51-1181
メール: kgpess@kwangaku.net

関学生への広告は、
関学新聞が承ります。

広告料

4,500円

関西学院大学新聞総部WEBサイトがリニューアルしました!!

・blogアリ ・bbsアリ ・部員紹介アリ

※その他、随時更新予定!

興味があってもなくてもとりあえず今すぐアクセス☆☆

<http://member.kwangaku.net/kgpress/>

連絡先:
関西学院大学新聞総部
〒662-0891 西宮市上ヶ原1番町1-155
関西学院大学新学生会館3F
Tel: 0798-51-1181
(平日の昼間時間帯)
Mail: kgpess@kwangaku.net

白羊宮 (おひつし座)



光の変化や空気感など一瞬の印象を再現しようと試みた。晩年のモネはこれを極限まで推し進めた。同じ題材を何枚も描くことでその一瞬を捉えようと「睡蓮」などの連作を手がけた。

彼は目にしか過ぎない。しかし、なんとという目だろう。

ポール・セザンヌ

19世紀後半に現れた印象派は、形態の明確な描写よりも、色彩の明瞭な描写よりも、印象派の第一人者であるポール・セザンヌが、印象派の祖と呼ばれるクロード・モネを評した言葉に求められる。

これは、金子みすずの『わたしと小鳥と鈴と』という詩の言葉を知っていたなら、その一節である。私がこの言葉に出会ったのは、小学校3年生のときの国語の授業。授業内容は詳しく覚えていないが、金子みすずの優しい心に深く感動したことを今でも覚えている。

みんなちがって みんないい。

金子 みすず

金牛宮 (おうし座)



他人が違うということが気に入らないからいじめは起きてしまうのである。「みんなちがって みんないい」といって、人間にはひとりひとりに素晴らしい個性があり、そのすべてに優劣はないだろうか。

もう、この年にもなっていない人はいないだろう。いじめをする人はいないだろう。いじめ自体も社会問題ではなくなってきた。だが、この考え方が多くの人に広まれば、もっといい世の中になるのではないだろうか。

昔の日本を生きていた金子みすずから学んだ素敵な言葉だと私は思う。

双児宮 (ふたご座)



彼が言った「悲観主義者はすべての好機の中に困難を見つけているが、楽観主義者はすべての困難の中に好機を見いだす」という言葉をここに紹介したい。受験生にとってはなかなか楽観主義者になる事はできないだろうか。

ここで言う楽観主義とは単に「気楽にやっつけろ」という諦めにも似た気持ちの事ではない。「自分の力を最大限に引き出すために、気持ちを楽にする」という意味にでもとら

い。それならばいっそ楽観主義者として、「困難」に立ち向かってもらいたい。そうするだけでも悔やむことなく、最後までどっしりと構えて受験に臨むことが出来るはず

悲観主義者はすべての好機の中に困難を見つけているが、楽観主義者はすべての困難の中に好機を見いだす。

ウィンストン・チャーチル

ウィンストン・チャーチルは1940年から1945年までイギリスの宰相を務めた人物である。彼が首相を務めていた当時の英国は、第二次世界大戦においてドイツと戦っていた。この戦争を指導して、ドイツに勝利したのがチャーチルだ。

難しいだろう。とかく、この時期は明日にも試験が迫っているという切羽詰った日常を送っている人が多いかもしれない。しかし、そんな時だからこそその力を抜いて自分を見つめなおすことが必要では

えて欲しい。悲観主義に陥り、あれこれと心配をして手足を絡めとられると自分の周りも広く見渡す事も出来なくなる。視野の狭くなった者は、チャンスを見つけないことも、それを活かすこともできない。

たしかに大学受験は人生における一つの分岐点ではある。合格によって進む道が変わってくるかもしれない。だからこそここはどうか「気楽に」受験を戦い抜いて欲しい。

しかし、今日まで印象派の絵画が支持されるのはなぜだろうか。それは、絵画が世界の本質を再現するものだからである。興味深いことに、モネは下書きを描く代わりに写真を用いて、社会人となりすべての物

し、それを画家の視点で描き込む。西洋美術史のなかで印象派が輝きを失わないのはまさにこのためだろう。我々学生は社会に出るまでいくらかの時間が許されている。社会人となりすべての物

打ち込むこと。自分の真実を見つけての旅をしよう。絵画鑑賞を息抜きとする最近、そんな思いがふと頭をよぎった。

「君に捧ぐ12の言葉」

エジソンはこの言葉で、自らの経験から考える努力をしなければ新たな創造も進歩もないと教えてくれる。実際、彼は苦学人であった。弱冠12歳で働き始め、新聞の売り子や電信技手を経て、21歳の時「電気投票記録機」を発明して最初の特許を取

得する。白熱電灯を普及させるまでには相当費をかけた。しかし、最近では8月になるとテレビが半日でできる工作や自由研究の特集を組み、本屋にもその手の参考書などが山積みだ。まさに至れり尽くせりである。だがこんな状況が未来の発明家や研究者をつくっているとは到底言い難い。た

くさんの情報が手に入り、世の中が便利になるのは大変結構なのだが、反面人間が本来兼ね備えているはずの能力を眠らせてしまっているのではないだろうか。

あがるのだ。夢が自分に近づき、自分はそれに見合うだけの人間になれる。遠回りに見えても、試行錯誤しながらよりよい方法を求めるのが、結局一番うまくいく生き方なのではないだろうか。

天才は1%のひらめきと99%の汗の賜物である。

トーマス・A・エジソン

一方、大人も「成功する方を実現する勇気のない人は、なおさら何かやってみて欲しい。傷つき、つらい目にあうのは嫌かもしれないが、このプロセスには大きなおまげがついている。しっかりと身をつとめて、自分のイメージができ

る。この言葉はそんなに長い言葉ではないが、先生の気持ちや物凄く伝わった言葉だ。自分自身と自分自身で思うのと、人からお前

でしか生徒に伝えることが出来ないのか。誰でも言える言葉ではないのか。生徒は頑張りやないのか。生徒は頑張りやないのか。生徒は頑張りやないのか。生徒は頑張りやないのか。

この言葉はそんなに長い言葉ではないが、先生の気持ちや物凄く伝わった言葉だ。自分自身と自分自身で思うのと、人からお前

獅子宮 (しし座)



この時期を最後まで諦めずに勉強し続けた人が、希望に満ちた桜の季節を迎えられる。この時期には「他力本願」という言葉はない。しかし、勉強する時は自分でしなければいけないが、家族・先生など周りの人々の支えは必要だ。

この言葉を私に言ってくれたのは高校の先生だった。私は当時3年生の秋が最後の時期を最後まで諦めずに勉強し続けた人が、希望に満ちた桜の季節を迎えられる。

この言葉はそんなに長い言葉ではないが、先生の気持ちや物凄く伝わった言葉だ。自分自身と自分自身で思うのと、人からお前

自信に繋がるものはない。受験が終わった今でも忘れ

お前ならできる。

ある教師の名言

「笑い」とはなんだろうか？ 私達は日常生活の中で様々なことで笑う。笑うという言葉を恐れる人間はいない。しかし、ドイツの哲学者であり、無神論者であるニーチェは「笑い」に対してネガティブな言葉を残している。ニーチェの思想の1つに「永劫回帰」とい

ではないだろうか。ニーチェはこのような享楽の道に進む人間を否定している。彼にとってはクリスチャンでさえ安易に「来世への夢」という享楽に逃避する哀れな人々なの

ではないだろうか。泣いて、苦しんでそれでも進まなければならぬのである。例えば、その時にいくら笑っても真の喜びを得ることはできない。苦しみ抜いた人にこそ、真の「笑い」がもたらされるのではないだろ

「地球上の最も苦しんでいる動物」、人間はその運命へと向かって行かなければならぬ。「笑い」とはその目標達成のための「アイテム」に過ぎない。それを過信することなくうまく扱

笑いと、地球上で一番苦しんでいる動物が発明したフリードリヒ・ヴィルヘルム・ニーチェ

なものである。

処女宮 (おとめ座)



「笑い」とはなんだろうか？ 私達は日常生活の中で様々なことで笑う。笑うという言葉を恐れる人間はいない。しかし、ドイツの哲学者であり、無神論者であるニーチェは「笑い」に対してネガティブな言葉を残している。ニーチェの思想の1つに「永劫回帰」とい

ではないだろうか。泣いて、苦しんでそれでも進まなければならぬのである。例えば、その時にいくら笑っても真の喜びを得ることはできない。苦しみ抜いた人にこそ、真の「笑い」がもたらされるのではないだろ

「地球上の最も苦しんでいる動物」、人間はその運命へと向かって行かなければならぬ。「笑い」とはその目標達成のための「アイテム」に過ぎない。それを過信することなくうまく扱

なものである。



信山社

資料収集読み込み研究から40年に及ぶ者全力の力作1巻

広中俊雄編著 申込み者のみ販売

日本民法典資料集成1

1 民法典編纂の大方針

原典復刻資料163点 解説つき 民法学者・商法学者・国際私法学者論文執筆必備の資料 院生法科大学生も一瞥の価値あり 1260頁 十一万円(予約価格の送料は送料別)

- 1 民法典編纂の大方針 7月20日発売
- 2 修正原案とその審議 総則編関係
- 3 修正原案とその審議 物権編関係
- 4 修正原案とその審議 債権編関係上
- 5 修正原案とその審議 債権編関係下
- 6 修正原案とその審議 親族編関係上
- 7 修正原案とその審議 親族編関係下
- 8 修正原案とその審議 相続編関係
- 9 整理議案とその審議
- 10 民法修正案の理由書 前三編関係
- 11 民法修正案の理由書 後二編関係
- 12 民法修正の参考資料 入会権資料
- 13 民法修正の参考資料 身分法資料
- 14 民法修正の参考資料 諸他の資料
- 15 帝国議会の法案審議

— 附表 民法修正案条文の変遷

松本博之・徳田和幸編 民事訴訟法研究最新線

民事手続法研究 創刊第1号 3500円

創刊号執筆 松本博之・越山和広・鶴田 滋

椿寿夫著作集1 本体12000円

多数当事者の債権関係

柳屋孝安著 (関西学院大学法学部教授) 1万円

現代労働法と労働者概念

井上治典編著 西川佳代・安西明子・仁木恒夫著

ブリッジブック 民事訴訟法

21000円

ブリッジブック 日本の外交

井上寿一著 (学習院大学法学部教授) 20000円

鎌塚康江著 関東学院大学法科大学院教授

パリティの論理 平等の技法 3200円

神余隆博著 (外務省・国際社会協力部長) 2800円

国際危機と日本外交

— 国益外交を超えて —

横井芳弘・篠原敏雄・辻村昌昭編

市民社会の変容と労働法

A5判上製470頁 本体12000円

森本哲也著 (弁護士・晴海総合) 4800円

概説アメリカ連邦刑事手続

ステイブ・ブロン・フエルドマン著

アメリカ法思想史

平野裕之著 (慶應義塾大学教授) 2800円

間接被害者の判例総合解説

B5判並製240頁 本体

香城敏磨著作集 123

憲法解釈の法理 12000円

刑事訴訟法の構造

12000円

刑法と行政刑法

12000円

愈玉姫著 6000円

芭蕉俳諧の季節観

平野秩夫著 (ひらのつねお) 名古屋大学名誉教授

法哲学史綱要

A5判上製350頁 本体10,000円

椿寿夫・三林 宏編 16800円

権利消滅期間の研究

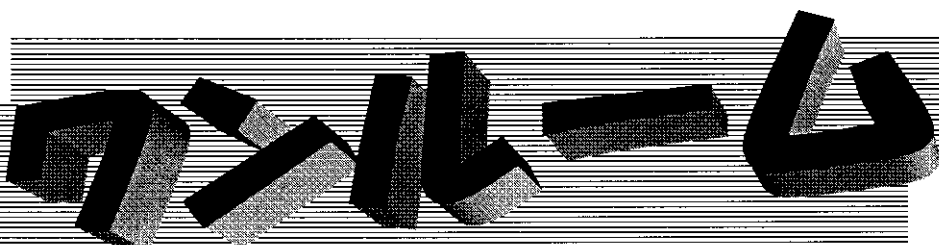
— 除斥期間・権利消滅期間の長さ・権利消滅期間の起算点 —

上田純子著 A5変上製約400頁 本体9,000円

英連邦会社法発展史論

英連邦会社法発展史論

大阪建設の



☆ 賃貸マンション ☆

学生さん向き **ステキなワンルーム** 色々揃っています!!

セパレートタイプ や **シャワーブース付き** など最新ワンルームをご覧ください
全て大阪建設グループの建物で、万全の管理体制をとっているの、学生の一人暮らしでも安心

☆ **仲介手数料 0円**

◆ 全ワンルーム ケーブルTV・インターネット対応 ◆

大好評です!



学生さん優遇制度

ありますので、遠慮なくお問い合わせ下さい

◆ 今のお住まいとの借り替えや入居の時期についての、便宜、優遇いたします

* 関学生協マイルーム事業部と提携しています * 詳細は下記当社か、関学生協にお問い合わせください

ステラハウス・アーバンジャングル でおなじみの

大阪建設株式会社

TEL. 0798-67-4111 【阪急 西宮北口駅 スグ】

西宮市南昭和町2-30

FAX. 0798-64-6377

http://www.osaka-kensetsu.co.jp

青春 NEW CINEMA PARADISE

主人公サルヴァトーレは、留守中に母からアルフレードが死んだという電話がかかってきたことを知る。その途端サルヴァトーレは、シチリアのジャンカレド村で過ごした少年時代を思い出す。

当時サルヴァトーレはトトと呼ばれ、母親に頼まれた買い物のお金で映画を見てしまうほどの無類の映画好きだった。そんなトトを魅了していたのは映画館パラダイス座の映画室であり、映画技師のアルフレードだった。トトはいつも映画室に入り込む癖をきくが、アルフレードはその度に彼を追いつ返す。が、そのうち2人の間

には不思議な友情が芽生えていく。成長したトトは銀行家の娘エレナに恋をするが、エレナの父の大反対に会う。エレナは家族と共にパレルモに引っ越してしまい、トト自身も兵役についた。除隊後村に戻ってきたトトの前に、彼女が姿を現すことはなかった。傷心のトトにアルフレードは、村を離れて新しい出発をしろと激励する。

そして30年の歳月が過ぎた。アルフレードの葬儀に出席するためにジャンカレド村に帰ってきたトトは、荒れ果てたパラダイス座でもの思いにふけるのだった。

というのがだいたいのストーリーのあらすじである。だが、なんとこの印象深いのが、トトと映画との出会いを描いた少年時代だ。

まずトト少年の愛くるしさといつたらない。そしてアルフレードとの心温まる交流。見ているこっちまで、彼らの笑顔につられてしまう。

この作品、かなりの長編の部類に入る。だが、それだけ

の時間をかけたからこそ得られる感動を持った作品に仕上がっている。自分の部屋に飾られた思い出の品々を老いたサルヴァトーレが眺めるシーン、廃墟になったパラダイス座でのラストシーンは涙なくしては語れない。

またこの映画を名作たらしめているのは、映画自身が映画史を語っているところである。パラダイス座に司教の検閲があり、そのせいで村の人々は映画のキスシーンが見れなかったことや、映画の黄金時代を彩った様々な名画の登場。ストーリー全体にノスタルジーが漂っている。

夢中になれるなにかを見つけている人は、幸せだ。さらに、人生の局面で背中を押してくれる「師」を得ることも。君にもそんな何かがあり、誰かがいるはず。まだ見つけていないなら、どうか探し始めてほしい。

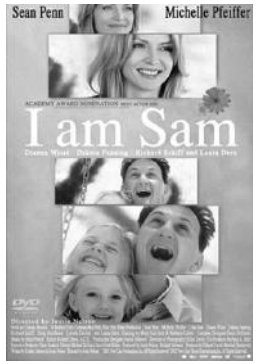


家族 I AM SAM

ルーシーが8歳に近づいたとき、彼女の知能はサムを越えてしまう。ルーシーは父親としてのサムに物足りなさを感じていく。そして、2人は少しずつずれ違っていく。そんな時にサムは児童福祉局のソーシャル・ワーカーに養育能力がないと判断される。そして、2人は離れ離れになる。サムは友人の勧めで敏腕弁護士ミシエル・ファイアー演じるリタ・ハリソンに弁護を依頼する。リタは体よくサムを擁護するつもりが、巻き込まれ無償で弁護することとなる。リタも家族との関係で悩んでいる。彼女もまたサム、ルーシーとの関わりの中で変化して

いく。そして、2人はルーシーを取り戻すための戦いを始める。果たして、サムとルーシーは再び一緒の時間を過ごせるようになるのだろうか。

この映画では、サムがピートルズマニアというところで多くのピートルズの曲が取り込まれており、世界観を引き立てる。また、必見はダコタ・フニングの演技である。実力俳優、シモン・ペン、ミシエル・ファイアーの中に会ってもその輝きを曇らせない。まさに「天才子



友情 STAND BY ME

作家ゴードン・ラチャンス「リチャード・ドレイファスは、弁護士クリス・チャンバース刺殺の記事を読み、かつて少年時代に3人の仲間と死体探しの冒険に出たことを思い出す。

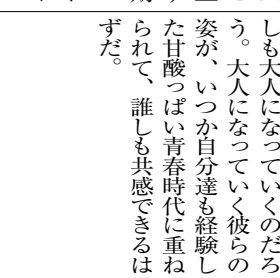
少年時代のゴードンはクリス・チャンバース、フェニックス、ステイ（コーリー・フェルドマン）の3人の仲間といつもつるんでいた。そんなある日、30キロ先の町で列車にはねられた少年の死体がまだ見つからないことを知った彼らは、自分達が死体を探し出し、町の英雄になれると思いい立ち、死体探しの冒険に出る。冒険の中で



受験生のための涙系DVD

「グッドウィルハンティング」は出演もしているマット・デイモンとベン・アフレックが脚本を書いた97年度アカデミー賞受賞作品である。MIT（マサチューセッツ工科大学）で清掃員のバイトをしているウィル・ハンティング（マット・デイモン）。彼は友達チャッキー（ベン・アフレック）らと共に、やんちゃをしていて傷害事件を犯してしまいが、実は彼は特異な数学的能力があった。ある日、掲示板に書かれたフェイブル賞を受賞したランボロ教授（ステラン・スカルスグールド）が出した問題を難なく解いてしまう。それを解いたのがウィルだと知ったランボロ教授は、傷害事件で拘留所にいたウィルを、週2回の数学の勉強と週1回のセラピーを受ける事を条件に連れ出す。

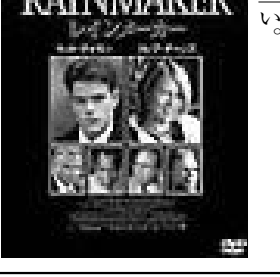
ランボロ教授ですら手こずる数学の問題を彼は解いて、周りを圧倒させるが、セラピーだけはどうしても長く続かなかった。ランボロ教授が紹介したセラピスト達もウィルとは付き合えきれない。それにはウィルが孤児で、虐待の経験がある過去が邪魔をしている。そこで、ランボロ教授は大学時代のルームメイトであったシモン・マクガイア（ロビン・



「この映画はなんといっても4人の少年達が線路上を歩く場面が特に有名だ。あるいは、ベン・E・キングの歌うあの主題歌を思い浮かべる人もいるかもしれない。そんな「スタンド・バイ・ミー」だが、この映画の主題は「通過儀礼」ではないだろうかと思う。すなわち、少年時代から思春期へと少しずつ大人になっていく。少年達の姿が、この作品には映し出されているというわけだ。彼らは冒険の中で様々

な苦難を共にしながら、成長する。通過儀礼はどんな人にも必ず訪れる人生の一場面だ。この映画のように冒険をしながら、恋、友情など悩みを少しずつ克服しながら誰しも大人になっていくのだから。大人になっていく彼らの姿が、いつか自分達も経験した甘酸っぱい青春時代に重ねられて、誰しも共感できるはずだ。

証人を探し出し、会社が他の契約者にも保険金の支払いを拒否しているという実態が暴かれる。しかし、相手方の弁護士に逆



役。ダコタはこの作品でBFC A最優秀新人賞など、新人賞を総なめにした。最近では、「宇宙戦争」、「ハイド・アンド・シーク」/暗闇のかくれんぼ」などビッグタイトルに出演。

先生 GOOD WILL HUNTING

ウィリアムズを訪ねる。彼はウィルと同じような過去を持つので任せられると思ったからだ。

シモンはウィルをセラピーする事になり2人は会うが、そこでウィルがシモンの亡き妻を侮辱するような言葉でシモンを侮辱してしまふ。ランボロ教授はセラピーが無理なら降りてきていいと言ったが、シモンは諦めなかった。再び会う事になり、シモンはウィルに自分の人生を見据えて生きていくべきだと語る。

そんなウィルにハーバード大学に通うスカイラー（ミニ・ドライバー）という彼女が出てくる。しかし、ウィルは自分の過去を隠しながら付き合っていた。シモンとは彼女の話を聞いて、次第に打ち解けていく。

こんな感じで話は進んでいき、ウィルは自分の進むべき道が見当たらず悩んでいて、過去の辛い経験で心を閉ざしていたが、シモンとの出会いにより人生が大きく変わっていく。この映画はそれぞれの役者の表情が豊かで、感動を誘う。

ルーシー・ペイラー（マット・デイモン）は弁護士志望の青年。彼は苦勞してなんとか弁護士事務所を雇われる事となる。しかしそこは悪徳弁護士ブルラー・スターン（ミック・ローク）の事務所だった。彼はそこでわざとやりに口を教わる。病院で交通事故の委任状を取り付けるといふ方法である。彼の初仕事は、母親を原告にして、白血病の子供タニーに保険金の支払いを拒否している悪徳保険会社を訴える事。ほどなく、司法試験に合格したルーシー・スターンの悪行がばれ、彼は姿をくらます。ルーシーは共に雇われていた法律事務員のデック（ダニー・デヴィー）と弁護士事務所を開く事になる。

そんな時、白血病のタニーはこの世を去る。審問会でルーシーは宣誓を行ない、弁護士となることができた。初めての裁判に戸惑うルーシーだが、場慣れたデックと夫からDVの被害をうけているケリー（クレア・デーンズ）から助けを借りる。夫との離婚を決めたケリーは彼女の夫に襲われてしまう。しかし逆に夫は倒され、留めを指した彼女は留置所行きとなってしまう。

裁判では、デックが新しい証人を探し出し、会社が他の契約者にも保険金の支払いを拒否しているという実態が暴かれる。しかし、相手方の弁護士に逆

信念 RAIN MAKER

裁判は振り出しに戻る。社長が証人席に呼び出される中、ブルラーから聞いた作戦が効いて、形勢が逆転。陪審員は会社に有罪を宣告し、莫大な賠償金を課した。しかし直後に会社は破産を申し入れ、賠償金は払われなかった。ルーシーは法律の教育者になることに決め正当防衛で釈放されたケリーと新しい人生を歩む。

確かに主題は若き弁護士の成長物語であろう。ルーシーが成長していき姿がかなりの見所になっている。一方で相棒のデックや弁護士ブルラーがルーシーを助ける場面では彼らの深い役割が光る。ところでレインメーカーというのは「雨を降らせて大金をせしめる」、アメリカの弁護士の仕事である。訴訟社会であるアメリカは賠償金の額も日本の比ではなく、報酬も桁違いだ。反面、弁護士の数が多いために、彼らも激しい競争の中で生きている。ルーシーのような正義感に溢れる青年も、弁護士になっていなければ、あの保険会社の弁護士のように狡猾なやり方で弱者を痛めつける人間になっていただろう。皮肉にも、彼が弁護士をやめたこととはむしろ正解だったのかもしれない。

